

令和5年度事業報告

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

I 概 況

令和5年度は、コロナ禍からようやく社会に活気がもどり、経済活動や国民の暮らしが正常化したことで本来の姿を取りもどし、景気回復への期待が高まったが、円安に加え、長引くウクライナ情勢や欧米の景気回復などに起因する40年ぶりの物価上昇により、個人消費は、財消費を中心に伸び悩んだ。

そうした中で、大手非製造業の景況判断DIは、飲食・宿泊サービスなどインバウンド需要の拡大によって、33年ぶりの高い水準となった。

一方、製造業においては、半導体の供給制約の緩和などによる自動車生産の増加や、電気自動車（EV）や人工知能（AI）の普及などにより、全産業にわたって設備投資額が増加するなどして経済を下支えしていたが、ダイハツ工業や豊田自動織機での認証不正による自動車の生産・出荷停止が大きく影響し、大手製造業の景況判断DIは、年度末には4四半期ぶりの悪化となった。

加えて「令和6年能登半島地震」による甚大な被害や、小林製薬による深刻な事態は、これからの経済成長に影を落とすこととなった。

会員企業をはじめとする地域企業の経営環境も、景気回復への活力を実感することなく厳しい状況に置かれてはいるが、全体としては緩やかな景気改善の動きを示した。

法人会を取り巻く関係では、令和5年10月からのインボイス制度、令和6年1月からの改正電子帳簿保存法による「電子取引における電子保存の義務化」など、企業経営の実務にとって、これまでにない重荷となる納税環境始まりの一年となった。

そうした一年の動きの中で、当連合会においては、適時的確かつ計画的に各種事業に取り組み、コロナ禍前と変わらない成果を残した。

特に、研修参加率は、各単位会の多くがインボイス制度研修会や年末調整説明会などを開催したことで一定の水準を維持することができ、各青年部会による租税教育活動も創意工夫を凝らしたレベルアップを図り、各女性部会における「税に関する絵はがきコンクール」では、これまでの記録を更新する過去最多の応募総数を確保するなど、充実した取組となった。

また、会員のあらゆるリスクをカバーする福利厚生制度の推進においても、厳しい環境下で全国的に伸び悩む中で、新たなサービス提供や全法連施策を活用した取組、さらには、協力保険会社の営業力と多くの会員の御協力により、成果を残すことができた。

一方で、組織面においては、法人会の会勢拡大が求められる中で、これまで以上に協力保険会社による会員増強支援をいただいたものの、コロナ禍で受けたダメージからの回復の遅れや人手不足などが要因となった廃業・解散・経営統合による退会が相次いだことで、結果として、退会が入会を上回ることとなり、県下全体では会員増加に転じることはできなかった。

II 主な事業報告

1 税環境整備改善等を図るための事業

(1) 税務知識の普及と納税意識の高揚を目的とする事業

① 租税教育活動（租税教室）

次代を担う小学生・中学生・高校生に対して、各単位会の青年部会がオリジナルティー溢れる「租税教室」を実施しながらブラッシュアップを進めてきており、令和5年度は、これまで以上に充実したものとなった。

なお、租税教育活動においては、対面方式やリモート方式によるこれまでの租税教室に限定することなく、TikTokなどSNSを駆使した新たな取組も生まれてきており、これからの可能性を感じさせるものが数多く見られた。

なお、各単位会青年部会による租税教育活動報告会（プレゼンテーション）における令和5年度の結果は、次のとおりとなった。

☆宮崎県最優秀賞 都城法人会青年部会

☆宮崎県優秀賞 宮崎法人会青年部会

☆宮崎県優秀賞 宮崎県北法人会青年部会

② 税に関する絵はがきコンクール

租税教育活動の一環として、租税教室とリンクして、女性部会が実施する「税に関する絵はがきコンクール」（対象：小学5・6年生）は、過去最多の応募作品の中から、外部の教育機関等専門家を加えた厳正な審査・選考を行い、入賞作品の表彰を行った。

なお、各単位会の優秀作品等については、それぞれ公共施設等での展示を行ったほか、県内の優秀作品については、令和6年2月15日（木）から2月25日（日）の期間中、宮崎県立図書館1Fミニギャラリーでの展示を行った。

◇公募期間：令和5年7月20日（木）～令和5年9月8日（金）

◇応募作品：7,099点

※ 応募作品数は、過去最多であった令和4年度（7,032点）を上回って最多記録を更新したが、その一因は、学校側の理解度と協力度が高まったことと、応募勧奨のアプローチを租税教室開催校だけに限定することなく、広く応募を募った各女性部会の地道な努力にある。

☆宮崎県連最優秀賞、宮崎法人会最優秀賞

宮崎大学教育学部附属小学校5年生 増田彩乃さん

☆宮崎県連女連協会長賞、高鍋西都法人会最優秀賞

新富町立新田小学校6年生 松本叶望香さん

☆宮崎県連優秀賞、小林法人会最優秀賞

小林市立須木小学校6年生 村社 堇さん

☆宮崎県連優秀賞、日南申間法人会最優秀賞

串間市立福島小学校6年生 安田 統真 さん

☆宮崎県連優秀賞、宮崎県北法人会最優秀賞

門川町立門川小学校6年生 中城 昊 さん

☆宮崎県連優秀賞、都城法人会最優秀賞

都城市立江平小学校6年生 小園 倅菜 さん

③ 税に関する啓発活動・広報活動

「税を考える週間」における広報として、令和5年11月に宮崎日日新聞での広報活動を展開した。

また、各単位会においては、地域の各種イベントへの参加により、納税意識の高揚のための活動にも積極的に取り組んだ。

(2) 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

① 税制改正の提言

全法連において決議する「税制改正の提言」に向けて、地域中小企業の事業再構築・活力向上に重きを置きながらも、この3年間先送りしてきた国の財政健全化への道筋を最大の課題として位置づけた上で、税制委員会において各単位会からの提言の整理・取りまとめを行い、令和5年6月20日(火)に全法連へ提出した。

なお、その後、「令和6年度税制改正の提言」は、全法連における税制委員会における議論を重ね、令和5年9月19日(火)開催の全法連理事会において正式決定し、令和5年10月3日(火)の日本経済新聞に意見広告として掲載するとともに、その報告・説明については、令和5年10月18日(水)開催の「第39回法人会全国大会群馬大会」(於：高崎芸術劇場)において行われた。

また、県選出国會議員をはじめとする関係先への提言書説明・支援の要請は、10月23日(月)に行うとともに、提言内容は、当会及び各単位会のホームページや会員情報誌を通じて広く一般への周知も行った。

② 全国青年の集い

全国の青年経営者等の代表が一堂に会し、日頃の租税教育活動や健康経営の事例紹介を基にした意見交換や、税制・税務に関する調査研究を行うため、令和5年11月9日(木)～10日(金)に「第36回法人会全国青年の集い山形大会」(於：やまぎん県民ホール)が開催され、県内各青年部会から30名の会員が参加した。

③ 全国女性フォーラム

全国の女性経営者等の代表が一堂に会し、「税に関する絵はがきコンクール」の取組をはじめとする租税教育活動や食品ロスへの取組などの社会貢献活動についての意見交換等を行うため、令和5年4月13日(木)に「第17回法人会全国女性フォーラム愛媛大会」(於：アイテムえひめ)が開催され、県内各女性部会から16名が参加した。

(3) 企業の税務コンプライアンス向上への取組

企業における内部統制面や経理面におけるリスクの軽減や、自社の経営力向上につなげていくための「自主点検チェックシート（公益財団法人全国法人会総連合作成）」の活用については、一部の法人会を除く各法人会において、十分な説明機会を確保することができなかった。

また、役員企業が率先して「自主点検チェックシート」を活用し、その成果を広く会員に周知していく取組も、各単位会における理解と意識に大きな格差があり、今後への課題を残すこととなった。

2 地域の経済社会環境の整備改善を図る事業

(1) 地域企業の健全な発展に資する事業

① 第1回

本会の第11回定時総会の開催に合わせて、会員をはじめ一般企業・一般市民も対象に企画することとしていたが、新型コロナの感染リスクを考慮して、県内各法人会の役員関係者のみの参加による開催となった。

- ☆開催日時 令和5年6月13日(火) 15時50分～17時10分
- ☆開催場所 宮崎観光ホテル東館3F「碧 耀」
- ☆演 題 「現代の政治家、その光と影
～家族史から浮かぶ評伝秘話～」
- ☆講 師 ノンフィクション作家 石 井 妙 子 様
- ☆出席者数 113名

② 第2回

第22回女性の集い日南串間大会の開催に合わせて、女性部会員・一般市民を対象にして記念講演会を開催した。

- ☆開催日時 令和5年10月13日(金) 15時50分～17時
- ☆開催場所 天然温泉ひなたの宿 日南宮崎
- ☆演 題 「ジェンダー平等が社会を救う」
- ☆講 師 宮崎県男女共同参画センター所長 富 山 幸 子 様
- ☆出席者数 105名

③ 第3回

第31回青年の集い小林大会の開催に合わせて、青年部会員・一般市民を対象にして記念講演会を開催した。

- ☆開催日時 令和5年10月27日(金) 14時～15時
- ☆開催場所 ガーデンベルズ小林
- ☆演 題 「言葉と笑顔は地球を救う」
- ☆講 師 合同会社レンケツ フリーアナウンサー 田 代 剛 様
- ☆出席者数 143名

(2) 地域社会への貢献を目的とする事業

① 献血活動

今年度も例年同様、宮崎県赤十字血液センターと連携し、血液が不足する冬場に2週間にわたって献血活動を展開した。

本取組には、会員をはじめとして市民にも広く献血への御協力を呼びかけた結果、コロナ禍を機に全国的な献血不足の報道が続いたことで、多くの善意・御協力があり、結果として、県内で1,217名の御協力をいただいた。

(受付数1,309名)

令和6年2月～3月 献血活動・献血キャンペーン

② 節電15%を目指す「いちごプロジェクト」の展開

東日本大震災をきっかけとして、電力需要の高い夏場を中心に、各単位会女性部会が、街頭や各種イベントにおいて、節電15%を呼びかけてきている「いちごプロジェクト」については、コロナ禍の3年間、見合わせが続いていたが、令和5年度は、各単位会女性部会が足並みをそろえて実施した。

③ チャリティー事業

社会貢献事業の一環として、令和5年4月14日(金)、宮崎カントリークラブにおいて、65名の参加をいただき「チャリティーゴルフ大会」を開催し、母子福祉事業活動に役立てていただくための寄付金を募り、独自のチャリティー事業を実施された都城法人会及び小林法人会それぞれのチャリティー事業益金とを合わせた322,710円を令和5年11月27日(月)に宮日母子福祉事業団へ贈呈した。合わせて、青連協及び女連協も含めて、能登半島地震被災地へ773,506円の義援金も贈呈した。

3 法人会が行う税を巡る諸環境並びに地域の経済社会環境の整備改善等の各種事業を支援する事業

(1) 助成運營業務事業の管理

全法連からの事務委託を受けて、全法連の助成事業が適正かつ円滑に行われるよう、各単位会における公益目的事業等と助成金申請、実績報告書の取りまとめに関する支援等の業務を行った。

(2) 研修会等の実施

① 事務局研修会

開催日	内 容	会 場	出席者数
R6.2.20	1 研 修 ① 法人会組織の現状と運営財源について ② 法人会の置かれている状況と今後について 講 師：(一社)宮崎県法人会連合会 専務理事 佐藤 隆 則 2 懇 談 (意見交換) ☆各単位会の事務局管理・組織運営上の 課題・問題点について	大同生命 宮崎ビル	17名

② 事務局長会議

開催日	議 題	会 場	出席者数
R5.9.5	<ol style="list-style-type: none"> 1 全法連会議の報告について 2 令和5年度の重点的取組について 3 令和5年度「税に関する絵はがきコンクール」について 4 県青連協における活動方針について 5 各単位会のインボイス制度への対応について 6 宮崎県女連協『第22回女性の集い日南串間大会』について 7 宮崎県青連協『第31回青年の集い小林大会』について 8 新たな公益目的事業の検討について 9 令和5年度の事務局研修について 10 福利厚生制度推進における新たな取組について 11 宮崎県連・南九連及び全法連の今後の行事予定について 12 令和5年度福利厚生制度の推進状況について 	大同生命 宮崎ビル	11名
R5.12.21	<ol style="list-style-type: none"> 1 全法連会議の報告について 2 令和5年度及び令和6年度の県連補助金について 3 令和6年度の事務局人事について 4 今後の宮崎県青連協役員会について 5 令和6年度宮崎県連の「女性の集い」と「青年の集い」について 6 各単位会の研修事業等の充実強化について 7 宮崎県連及び各単位会の会計・税務顧問の見直しについて 8 単位会支援のための県連機能強化について 9 今年度の事務局研修について 10 宮崎県連・南九連及び全法連の今後の行事予定について 11 令和5年度福利厚生制度の推進状況について 	大同生命 宮崎ビル	10名

4 組織基盤の充実と会員のための福利厚生推進に関する事業

(1) 組織の充実強化

法人会組織の拡充と会勢回復を図っていくための年間を通じた会員増強の取組の中で、特に、令和5年9月～12月を「会員増強期間」と定め、各単位会が足並みを揃えて新規会員入会促進運動を展開したが、年間では会員減少となった。

単位会別会員数

単位会名	法人数	会員数	加入率
宮崎法人会	9,562	2,062	21.6%
日南串間法人会	1,360	469	34.5%
都城法人会	3,710	1,024	27.6%
小林法人会	1,326	370	27.9%
高鍋西都法人会	1,674	575	34.3%
宮崎県北法人会	4,082	1,314	32.2%
宮崎県連	21,714	5,820	26.8%

(2) 広報活動の充実強化

法人会の知名度向上は全国共通の課題であるため、令和5年度の各単位会では、インボイス制度研修会や租税教育活動などについてメディアへの取材依頼を通じて、各単位会独自の活動紹介を積極的に進めるとともに、ホームページやSNS、広報誌を通して、税制改正やe-taxの利用促進、インボイス制度や改正電子帳簿保存法などについて周知広報を行った。

☆全法連季刊誌「ほうじん」の会員への配布

☆ホームページやSNS、広報誌での事業活動紹介、税情報の周知広報

☆TV・ラジオ・新聞などメディアを通じた活動紹介・税情報の広報

(3) 青年部会・女性部会の活動強化

① 青年部会

オリジナリティーを発揮してレベル向上を図っている各単位会青年部会の活動強化・活力の源泉となっているのは、県青連協及び南九青連協が開催する青年の集いにおける情報交換や租税教育プレゼンテーションである。

令和5年度は、コロナ禍から脱却した本来の活力ある空気感の中で、今後の活動強化につなげるための本格開催にもどし、143名の参加をいただき、令和5年10月27日(金)、小林市において宮崎県青連協『第31回青年の集い小林大会』(於：ガーデンベルズ小林)を開催した。

また、同様に、令和6年2月22日(金)には、南九青連協『第24回青年の集いin熊本』(於：熊本ホテルキャッスル)が開催され、健康経営実務研修、青年部会活動事例報告会、租税教育プレゼンテーションなど盛りだくさんの行事に加え、活気あふれる交流会に、南九州4県から248名の青年部会員が参加した。

② 女性部会

「税に関する絵はがきコンクール」の取組は、学校現場への波及効果と地域社会へのアピール性が極めて高く、節電15%を目指す「いちごプロジェクト」の推進や「食品ロス削減」の啓発活動と合わせて、女性部会会員の参加意識の向上・定着に大きな役割を果たしてきている。

令和5年度は、青年部会と同様に、今後の活動強化につなげるため、105名の参加をいただき、令和5年10月13日(金)、日南市において宮崎県女連協『第22回女性の集い日南串間大会』(於：天然温泉ひなたの宿 日南宮崎)を開催した。

また、同様に、令和5年11月7日(火)には、南九女連協『第16回女性の集いin鹿児島』(於：城山ホテル鹿児島)が開催され、記念講演会や食品ロス削減のための取組などを議論する円卓会議に加え、賑わいある交流会に、南九州4県から173名の女性部会員が参加した。

(4) 福利厚生制度の推進

法人会の福利厚生制度は、その優位性ある制度の提案と加入促進によって、当会と会員とのWin-Winの関係を築いているとともに、各法人会の財政基盤の安定にも大きな役割を果たしている。

令和5年度は、コロナ禍からの景気回復が十分でない環境下で、全国的に厳しい営業活動となったが、新たなサービス提供や全法連施策を活用した取組、さらには、協力保険会社の営業力と多くの会員の御協力により、一定の成果を残すことができた。

- ① 大同生命保険(株)の経営者大型保障制度等
- ② AIG損害保険(株)のビジネスガード
- ③ アフラックのがん保険・医療保険
- ④ 三井住友海上火災保険(株)の中小企業向け貸倒保証制度

制 度 名	県内加入者数	加 入 率
経営者大型保障制度等 (大同生命)	1,505	25.9%
ビジネスガード (AIG)	1,770	30.4%
がん保険 (アフラック)	1,205	20.7%
医療保険 (アフラック)	602	10.3%
中小企業向け貸倒保証制度 (三井住友海上火災)	0	—

5 管理事業

(1) 総会（第11回定時総会）

開催日	議 題	会 場	出席者数
R5.6.13	第1号議案 令和4年度事業報告承認の件 第2号議案 令和4年度収支決算承認及び 監査報告の件 第3号議案 任期満了に伴う役員改選の件 【報告事項】 ◇令和5年度事業計画及び収支決算について	宮崎観光ホテル	本人出席 99名 委任状出席 1名

(2) 理事会

開催日	議 題	会 場	出席者数
R5.4.26	【令和5年度第1回】 第1号議案 令和4年度事業報告承認の件 第2号議案 令和4年度収支決算承認及び 監査報告の件 第3号議案 任期満了に伴う役員改選の件 第4号議案 第11回定時総会参加動員の件 報告事項 ◇宮崎県連、南九連及び全法連の今後の 行事予定について ◇福利厚生制度の令和4年度推進結果及び 令和5年度推進計画について	ニューウェル シティ宮崎	19名
R5.6.13	【令和5年度第2回】 第1号議案 会長、副会長及び専務理事 選任の件	宮崎観光ホテル	18名
R5.8.3	【令和5年度3回】 第1号議案 令和5年度の重点的取組の件 第2号議案 令和5年度事業の進捗状況と 今後の計画の件 第3号議案 令和5年度会員増強の取組の件 第4号議案 各単位会における研修事業等 の充実強化の件 第5号議案 各単位会の委員会活動の件 第6号議案 令和5年度福利厚生制度の 新たな取組の件 【報告事項】 ◇南九州法人会連絡協議会第44回通常 総会等の本県開催について ◇宮崎県連、南九連及び全法連の今後の 行事予定について ◇令和5年度福利厚生制度の推進状況に ついて	ニューウェル シティ宮崎	18名

R6. 1. 16	<p>【令和5年度第4回】</p> <p>第1号議案 令和5年度事業の進捗状況と今後の計画の件</p> <p>第2号議案 就業規則、給与規程及び事務処理規程の一部改定の件</p> <p>第3号議案 育児・介護休業規程の制定の件</p> <p>第4号議案 令和5年度及び令和6年度の県連補助金の件</p> <p>第5号議案 令和6年度の事務局人事の件</p> <p>第6号議案 「令和6年能登半島地震」の義捐金の件</p> <p>第7号議案 令和6年度チャリティー事業の件</p> <p>第8号議案 第12回定時総会の企画・開催の件</p> <p>【報告事項】</p> <p>◇自主点検チェックシートの改訂について</p> <p>◇宮崎県連、南九連及び全法連の今後の行事予定について</p> <p>◇令和5年度福利厚生制度の推進状況について</p>	ニューウェルシティ宮崎	18名
R6. 3. 18	<p>【令和5年度第5回】</p> <p>第1号議案 令和5年度県連補助金の追加の件</p> <p>第2号議案 給与規程の一部改定の件</p> <p>第3号議案 全法連施策：県連機能強化助成金申請の件</p> <p>第4号議案 令和6年度事業計画決定の件</p> <p>第5号議案 令和6年度収支予算決定の件</p> <p>第6号議案 令和6年度功労者表彰候補者推薦の件</p> <p>第7号議案 第12回定時総会の開催要領の件</p> <p>【報告事項】</p> <p>◇「令和6年能登半島地震」の義援金について</p> <p>◇宮崎県連、南九連及び全法連の今後の行事予定について</p> <p>◇令和6年度の事務局人事について</p> <p>◇令和5年度福利厚生制度の推進状況について</p>	ニューウェルシティ宮崎	14名

(3) 委員会等

① 令和5年度組織・厚生合同委員会

開催日	議 題	会 場	出席者数
R5. 6. 22	<p>1 委員長及び副委員長の選任について</p> <p>2 各単位会の会員数の推移と運営財源について</p> <p>3 会員増強と福利厚生制度推進に向けた全法連施策について</p>	アートホテル宮崎 スカイタワー	23名

	<ul style="list-style-type: none"> 4 アフラック：法人会がん保険40周年の取組について 5 令和4年度福利厚生制度の推進結果報告について 6 令和5年度福利厚生制度の推進目標・計画について 7 会員増強と福利厚生制度推進の効果的な取組について 	
--	---	--

② 税制委員会

開催日	議 題	会 場	出席者数
R5.6.15	<ul style="list-style-type: none"> 1 委員長及び副委員長の選任について 2 令和6年度税制改正提言に向けたスケジュールと検討テーマについて 3 法人会の税制改正に関する提言の主な実現事項について 4 令和6年度税制改正に関するアンケート調査集計結果について 5 税制改正に係る動向と令和6年度提言のポイントについて 6 令和6年度税制改正に関する提言の検討について 	ニューウェルシティ宮崎	8名

③ 事業研修委員会

開催日	議 題	会 場	出席者数
R5.8.9	<ul style="list-style-type: none"> 1 委員長及び副委員長の選任について 2 全法連事業研修委員会について 3 令和5年度の重点的取組について 4 令和5年度事業の進捗状況と今後の計画について 5 各単位会の令和5年度公益目的事業の実施状況と今後の計画について 6 各単位会の研修事業等の充実強化について <p style="text-align: center;">※台風6号接近により中止</p>	日南第一ホテル	12名
R6.3.1	<ul style="list-style-type: none"> 1 全法連事業研修委員会について 2 県連の令和5年度事業の進捗状況について 3 各単位会の令和5年度公益目的事業の実施状況について 4 各単位会の令和6年度研修事業等の充実強化について 	日南第一ホテル	11名

④ 広報委員会

開催日	議 題	会 場	出席者数
R5. 8. 28	1 委員長及び副委員長の選任について 2 全法連広報委員会について 3 令和5年度の重点的取組について 4 自主点検チェックシート改訂版の周知 ・広報について 5 各単位会の令和4年度広報活動について 6 今後における広報活動のあり方について 7 意見交換	ニューウェル シティ宮崎	8名

⑤ 総務委員会

開催日	議 題	会 場	出席者数
R5. 8. 30	1 委員長及び副委員長の選任について 2 全法連総務委員会について 3 令和5年度の重点的取組について 4 令和5年度事業の進捗状況と今後の 計画について 5 育児・介護休業規程の制定と就業規則 ・給与規程の改定について 6 新たな公益目的事業認定申請の検討に ついて 7 各単位会の組織運営・事務局運営上の 課題について	ニューウェル シティ宮崎	8名
R6. 3. 16	1 全法連総務委員会の報告について 2 令和5年度及び令和6年度の県連補助 金について 3 令和6年度の事務局人事について 4 給与規程の一部改定について 5 全法連施策：令和6年度県連機能強化 助成金の申請について 6 令和6年度功労者表彰候補者の推薦に ついて 7 令和6年度の県連チャリティー事業に ついて 8 第12回定時総会の開催要領について	ホテル メリージュ	8名

(3) 監 査

実施日	内 容	会 場	出席者数
R5. 4. 20	令和4年度決算に係る監査	大同生命 宮崎ビル4F	3名

(4) 全法連関係

開催日	内 容	会 場	出 席 者
R5. 4. 7	令和 5 年度第 1 回全国県連専務理事等会議	全法連会館	専務理事
R5. 5. 26	全法連第 4 5 回理事会	全法連会館	後藤会長
R5. 6. 19	全法連第 4 6 回理事会・功労者表彰式	帝国ホテル	後藤会長
R5. 7. 18	全法連令和 5 年度第 1 回事業研修委員会	全法連会館	濱崎委員長
R5. 7. 19	全法連令和 5 年度第 1 回税制委員会	全法連会館	川越委員長
R5. 7. 21	全法連令和 5 年度第 1 回広報委員会	全法連会館	久保委員長
R5. 7. 26	全法連令和 5 年度第 1 回総務委員会	全法連会館	野崎委員長
R5. 8. 1	全法連令和 5 年度第 1 回厚生委員会	明治記念館	川並委員長
R5. 8. 4	全法連令和 5 年度第 1 回組織委員会	全法連会館	田村委員長
R5. 8. 23	令和 5 年度第 2 回全国県連専務理事等会議	全法連会館	専務理事
R5. 9. 5	全法連令和 5 年度第 2 回税制委員会	全法連会館	川越委員長
R5. 9. 19	全法連第 4 7 回理事会	全法連会館	後藤会長
R5. 10. 18	第 3 9 回法人会全国大会（群馬大会）	高崎芸術劇場	後藤会長ほか
R5. 12. 8	令和 5 年度第 3 回全国県連専務理事等会議	全法連会館	専務理事
R6. 1. 15	全法連臨時税制常任委員会	全法連会館	川越委員長
R6. 1. 23	全法連新年賀詞交歓会	帝国ホテル	後藤会長
R6. 2. 5	全法連令和 5 年度第 2 回事業研修委員会	全法連会館	濱崎委員長
R6. 2. 9	全法連令和 5 年度第 2 回厚生委員会	全法連会館	川並委員長
R6. 2. 14	全法連令和 5 年度税制セミナー	ハイアットリージェンシー東京	川越委員長
R6. 2. 15	全法連令和 5 年度第 3 回税制委員会	全法連会館	川越委員長
R6. 2. 15	全法連第 7 回税制常任委員会	全法連会館	川越委員長
R6. 2. 16	全法連令和 5 年度第 2 回広報委員会	全法連会館	久保委員長
R6. 2. 21	全法連令和 5 年度第 2 回組織委員会	全法連会館	田村委員長

R6. 3. 4	全法連令和5年度事務局セミナー	ハイアットリージェンシー東京	宮崎法人会・高鍋西都法人会事務局職員
R6. 3. 6	全法連令和5年度第2回総務委員会	全法連会館	野崎委員長
R6. 3. 19	全法連第49回理事会	全法連会館	後藤会長

(5) 南九連関係

開催日	内 容	会 場	出席者
R5. 7. 31	令和5年度第1回正副会長・専務理事会議	ザ・ニューホテル熊本	後藤会長
R5. 9. 22	令和5年度第2回正副会長・専務理事会議	宮崎観光ホテル	後藤会長 専務理事
R5. 9. 22	第44回通常総会	宮崎観光ホテル	後藤会長ほか
R5. 10. 3	南九州法人会組織・厚生合同委員会	ホテル日航熊本	後藤会長、田村委員長 川並委員長、専務理事

(6) その他の会議等

開催日	内 容	会 場	出席者
R5. 7. 3	南九州税理士会宮崎県連合会令和5年度定期総会	宮崎観光ホテル	後藤会長
R5. 12. 18	令和5年度九州城内・沖縄県連専務理事等会議	西鉄グランドホテル	専務理事
R6. 1. 16	南九州税理士会宮崎県連合会新年賀詞交換会	宮崎観光ホテル	後藤会長